

戦局の悪化

1 東条英機内閣 1941.10~44.7 2 軍需省を設置(1943.11)

1942.6月 3 ミッドウェー海戦で大敗…主導権はアメリカへ

1943.2月 4 ガダルカナル島撤退(“転進”) 5月 5 アッツ島守備隊全滅(「6 玉砕」)

9月 7 イタリア無条件降伏…ムッソリーニは失脚→逃走→のち銃殺(1945.4)

11月 8 カイロ 会談…対日戦の処理についての宣言(9 カイロ宣言)

米大統領¹⁰ ローズヴェルト・英首相¹¹ チャーチル・¹² 蒋介石(中国)

1944.3月 ¹³ インパール作戦失敗 6月 ¹⁴ マリアナ沖海戦…日本、空母・航空機の主力を失う

7月 ¹⁵ サイパン島 玉砕…¹⁶ 絶対国防圏くずれる(本土空襲の基地) →内閣総辞職

¹⁷ 小磯国昭内閣 1944.7~45.4 陸軍出身 米内光政(海軍)と連立内閣 ¹⁸ 最高戦争指導会議設置

1944.10月 ¹⁹ レイテ沖海戦…日本の連合艦隊が壊滅 ※²⁰ 特別攻撃隊(神風特攻隊)初出撃

11月 ²¹ 本土空襲開始…²² B29による爆撃 <例>1945.3/10 ²³ 東京大空襲…死者約10万人

1945.2月 ²⁴ ヤルタ 会談…クリミア半島(ソ連)のヤルタ 戦後処理を協議→²⁵ ヤルタ協定

²⁶ ローズヴェルト(米)・²⁷ チャーチル(英)・²⁸ スターリン (ソ連最高指導者)

対独処置と、独降伏後の²⁹ ソ連参戦の密約(代償に³⁰ 千島樺太領有)

近衛文麿、天皇に早期講和を上奏(³¹ 近衛上奏文)→天皇が却下

3月 ³² 硫黄島(東京都)玉砕 4月 米軍、³³ 沖縄戦開始(~6月) 「鉄の暴風」

→軍部と内閣の対立で解散

☆日本軍の人命軽視 <例> 神風特攻隊、零式戦闘機、玉砕(民間人も) 「鬼畜米英」

「生きて虜囚の辱めを受けず」(東条『²⁸ 戦陣訓』)

※ハーグ陸戦法規(1907)…戦争に関するルール <例>捕虜の人的取扱、戦闘手段の制限など

「海行かば」

作詞：大伴 家持

海行かば ^{みづ}水漬く ^{かばね}屍

山行かば ^{くさむ}草生す 屍

大君の ^へ辺にこそ死なめ

かえりみはせじ

※太平洋戦争末期の大本営発表で玉砕を報道する際の曲に使用された。^a

終戦(敗戦)

34 **鈴木貫太郎**

1945.4~8 海軍出身(二・二六事件で重傷) 外相 35 **東郷茂徳**^{しげのり}

36 **ソ連** を仲介とする和平工作 ただし最優先は「**37 国体護持**」

…日本に対し、すでに(4/7)中立条約不延長を通告済み (期限切れは1946年)

1945.5/8 38 **ドイツ無条件降伏**(ヒトラーは4/30に自殺)

6月 **沖縄戦(組織的抵抗)終了**…本土決戦の「捨て石」 住民を巻き込む持久戦→被害が拡大
沖縄県出身者の死者約12万人以上、うち民間人10万人以上 (諸説あり)

<例> 39 **鉄血勤皇隊**(男子学生)、40 **ひめゆり隊**・白梅隊(女子学生の看護隊)

41 **集団自決(集団自殺)** ※学童疎開船対馬丸の撃沈(1944)

7月 42 **ポツダム 会談**…ベルリン(独)郊外 対日戦争終結の条件を協議

43 **トルーマン** (米大統領)、チャーチル→44 **アトリー**(英首相)、45 **スターリン**(ソ連)

7/26 46 **ポツダム宣言**…米・英・中の名で発表 (+ソ連…参戦後に)

連合国による占領、47 **軍国主義の排除**、48 **日本軍の武装解除**、49 **戦争犯罪人の処罰**

50 **領土を本州・北海道・四国・九州に限定** など 国体については言及なし

→日本政府、これを「黙殺(無視)」すると発表(「拒絶」と解釈される)

8月6日 米国、51 **広島に原爆投下**…戦争の早期(ソ連の参戦前)終結をはかる

8月8日 52 **ソ連、日本に宣戦布告**(23:00)…中立条約無視

※関特演(→近代41)を口実に

8月9日 ソ連、**満州・南樺太へ侵入**…関東軍・満蒙開拓団に甚大な被害

→53 **中国残留孤児・残留婦人問題**、ソ連へ捕虜(57万人)

米国、55 **長崎に原爆投下**

54 **シベリア抑留**

8月10・14日 御前会議で、56 **ポツダム宣言受諾・無条件降伏を決定**

8月15日 57 **玉音放送(終戦の詔勅)** 17日 **内閣総辞職**

ひがしくにのみやなるひこ
58 **東久邇宮稔彦**

1945.8~45.10 皇族で陸軍大将

9月2日 59 **降伏文書調印**…東京湾上の米戦艦60 **ミズーリ号**

[米] 61 **マッカーサー元帥**

[日] 62 **重光葵**(外相)、63 **梅津義治郎**(軍部)

9月5日 ソ連軍の侵攻が止まる ※64 **北方領土問題**

【正誤問題に挑戦】<2006年度 本試験 日本史A>

- I ③長崎に原子爆弾が投下された。
II ②米・英・中の連合国首脳がカイロ宣言を発表した。
III ①ミッドウェー海戦で日本海軍が大敗した。

戦局の悪化

1 東条英機内閣 1941.10~44.7 2 軍需省を設置(1943.11)

1942.6月 3 ミッドウェー海戦で大敗…主導権はアメリカへ

1943.2月 4 ガダルカナル島撤退(“転進”) 5月 5 アッツ島守備隊全滅(「6 _____」)

9月 7 イタリア無条件降伏…ムッソリーニは失脚→逃走→のち銃殺(1945.4)

11月 8 _____ 会談…対日戦の処理についての宣言(9カイロ宣言)

米大統領¹⁰ローズヴェルト・英首相¹¹_____・¹²蔣介石(中国)

1944.3月 ¹³インパール作戦失敗 6月 ¹⁴マリアナ沖海戦…日本、空母・航空機の主力を失う

7月 ¹⁵_____ 玉砕…¹⁶絶対国防圏くずれる(本土空襲の基地) →内閣総辞職

17 小磯国昭内閣 1944.7~45.4 陸軍出身 米内光政(海軍)と連立内閣 ¹⁸最高戦争指導会議設置

1944.10月 ¹⁹レイテ沖海戦…日本の連合艦隊が壊滅 ※²⁰特別攻撃隊(神風特攻隊)初出撃

11月 ²¹本土空襲開始…²²B29による爆撃 <例>1945.3/10 ²³東京大空襲…死者約10万人

1945.2月 ²⁴_____ 会談…クリミア半島(ソ連)のヤルタ 戦後処理を協議→²⁵ヤルタ協定

²⁶ローズヴェルト(米)・²⁷チャーチル(英)・²⁸_____ (ソ連最高指導者)

対独処置と、独降伏後の²⁹ソ連参戦の密約(代償に³⁰千島樺太領有)

近衛文麿、天皇に早期講和を上奏(³¹近衛上奏文)→天皇が却下

3月 ³²硫黄島(東京都)玉砕 4月 米軍、³³沖縄戦開始(~6月)「鉄の暴風」

→軍部と内閣の対立で解散

☆日本軍の人命軽視 <例> 神風特攻隊、零式戦闘機、玉砕(民間人も) 「鬼畜米英」

「生きて虜囚の辱めを受けず」(東条『²⁸戦陣訓』)

※ハーグ陸戦法規(1907)…戦争に関するルール <例>捕虜の人的取扱、戦闘手段の制限など

「海行かば」

作詞：大伴 家持

海行かば 水漬く屍

山行かば 草生す屍

大君の 辺にこそ死なめ

かえりみはせじ

※太平洋戦争末期の大本営発表で玉砕を報道する際の曲に使用された。^a

終戦(敗戦)

34 _____

1945.4~8 海軍出身(二・二六事件で重傷) 外相 ^{しげのり}35 東郷茂徳

36 _____ を仲介とする和平工作 ただし最優先は「³⁷国体護持」

…日本に対し、すでに(4/7)中立条約不延長を通告済み (期限切れは1946年)

1945.5/8 ³⁸ドイツ無条件降伏(ヒトラーは4/30に自殺)

6月 沖縄戦(組織的抵抗)終了…本土決戦の「捨て石」 住民を巻き込む持久戦→被害が拡大
沖縄県出身者の死者約12万人以上、うち民間人10万人以上 (諸説あり)

<例> ³⁹鉄血勤皇隊(男子学生)、⁴⁰ひめゆり隊・白梅隊(女子学生の看護隊)

⁴¹集団自決(集団自殺) ※学童疎開船対馬丸の撃沈(1944)

7月 ⁴² _____ 会談…ベルリン(独)郊外 対日戦争終結の条件を協議

⁴³ _____ (米大統領)、チャーチル→⁴⁴アトリー(英首相)、⁴⁵スターリン(ソ連)

7/26 ⁴⁶ポツダム宣言…米・英・中の名で発表 (+ソ連…参戦後に)

連合国による占領、⁴⁷軍国主義の排除、⁴⁸日本軍の武装解除、⁴⁹戦争犯罪人の処罰

⁵⁰領土を本州・北海道・四国・九州に限定 など 国体については言及なし

→日本政府、これを「黙殺(無視)」すると発表(「拒絶」と解釈される)

8月6日 米国、⁵¹広島に原爆投下…戦争の早期(ソ連の参戦前)終結をはかる

8月8日 ⁵²ソ連、日本に宣戦布告(23:00)…中立条約無視

※関特演(→近代41)を口実に

8月9日 ソ連、満州・南樺太へ侵入 …関東軍・満蒙開拓団に甚大な被害

→⁵³中国残留孤児・残留婦人問題、ソ連へ捕虜(57万人)

米国、⁵⁵長崎に原爆投下

↳⁵⁴ _____

8月10・14日 御前会議で、⁵⁶ポツダム宣言受諾・無条件降伏を決定

8月15日 ⁵⁷玉音放送(終戦の詔勅) 17日 内閣総辞職

ひがしくにのみやなるひこ
⁵⁸東久邇宮稔彦

1945.8~45.10 皇族で陸軍大将

9月2日 ⁵⁹降伏文書調印…東京湾上の米戦艦⁶⁰ミズーリ号

[米] ⁶¹マッカーサー元帥

[日] ⁶²重光葵(外相)、⁶³梅津義治郎(軍部)

9月5日 ソ連軍の侵攻が止まる ※⁶⁴北方領土問題

【正誤問題に挑戦】 <2006年度 本試験 日本史A>

- I 長崎に原子爆弾が投下された。
- II 米・英・中の連合国首脳がカイロ宣言を発表した。
- III ミッドウエー海戦で日本海軍が大敗した。